



# 見えない

# 私が

# 見える夢

講師：末富綾子（画家）

末富綾子さんは美大卒業後パリに留学し画家としての修練を積んだ後に中途失明された美術家です。作品制作の他、『点字毎日』他にエッセイを発表してきた文筆家でもあります。今回は、最近末富さんが関心を持っている「夢を描く」というテーマを中心にお話をいただいた後、実際に夢を描いてみたり、その場で何かを作る行為を通して「見える」とはいかなる経験なのか、また自分が見える（見られる）存在であることは何を意味するか、といったことについて考えます。

2020年  
1月11日(土)  
15:00-17:00

聞き手：吉岡洋（京都大学こころの未来研究センター特定教授）

定員：20人（どなたでもご参加頂けます）

参加料：無料

場所：〒606-8501 京都府京都市左京区 吉田下阿達町4-6

京都大学稲盛財団記念館 1階 京都賞ライブラリーセミナー室

アクセス：京阪電車「神宮丸太町」5番出口から徒歩5分、または市バス「荒神口」から徒歩5分。

駐車場はありません。近隣のコインパーキングをご利用下さい。

## <お申込方法>

件名に「拡張された芸術学公開講座 申込み」と明記し、必要事項を記入の上、ご送付下さい。

必要事項：①氏名(ふりがな)、②所属先(学部・学年)、③連絡先メールアドレス

宛先：京都大学こころの未来研究センター 吉岡洋研究室

[yoshioka.hiroshi.7s@kyoto-u.ac.jp](mailto:yoshioka.hiroshi.7s@kyoto-u.ac.jp)

※定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡を差し上げます。

※土曜日は正面玄関が閉まっていますので、参加者の方には別途入館方法をご案内させていただきます。